

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公開番号】特開2013-90465(P2013-90465A)

【公開日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2011-229486(P2011-229486)

【国際特許分類】

H 02 K 5/04 (2006.01)

【F I】

H 02 K 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月24日(2014.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステータコアと、前記ステータコアを固定するプラケットとを含むステータと、前記ステータに対して回転可能であり、かつ回転軸を含むロータと、前記回転軸の外径側において前記回転軸を回転可能に支持する軸受とを備え、前記プラケットは、前記回転軸に沿って延在する筒状部と、前記筒状部の端部を外径側に折り返すことで形成された折返し部とを含み、前記軸受は前記筒状部の内周面に固定され、前記ステータコアは前記折返し部の外周面に固定される、ディスク回転用モータ。

【請求項2】

前記プラケットは、前記筒状部の端部を内径側に折り曲げることで形成された底部をさらに含み、

前記底部は前記回転軸の一方の端部を支持する、請求項1に記載のディスク回転用モータ。

【請求項3】

前記回転軸の一方の端部と接触する接触面を有するスラスト板をさらに備え、前記底部は、前記接触面とは反対側の面で前記スラスト板と接触する第1の底部と、前記第1の底部を折り曲げることで形成され、かつ前記スラスト板の外周を取り囲む第2の底部とを含む、請求項2に記載のディスク回転用モータ。

【請求項4】

前記ロータを磁気的に吸引する吸引マグネットをさらに備えた、請求項1～3のいずれか1項に記載のディスク回転用モータ。

【請求項5】

前記吸引マグネットは、前記筒状部と前記折返し部との境界と接触するように前記軸受の外周面に固定される、請求項4に記載のディスク回転用モータ。

【請求項6】

前記吸引マグネットは、前記ステータコアと接触するように前記折返し部の外周面に固定される、請求項4に記載のディスク回転用モータ。

【請求項7】

前記プラケットは、前記筒状部と前記折返し部との境界において前記筒状部と前記折返

し部とを分離する分離部をさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のディスク回転用モータ。

【請求項 8】

前記ステータコアと前記軸受とは、前記筒状部および前記折返し部を挟んで径方向で互いに対向する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のディスク回転用モータ。

【請求項 9】

前記プラケットは、前記折返し部の端部を外径側に折り返すことで形成された外縁部をさらに含み、

前記折返し部は、前記筒状部との折返し位置から前記外縁部との折返し位置にかけて均一な直径を有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のディスク回転用モータ。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のディスク回転用モータと、前記ディスク回転用モータの駆動状態を制御する制御部とを備えた、ディスク駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記ディスク回転用モータにおいて好ましくは、プラケットは、筒状部と折返し部との境界において筒状部と折返し部とを分離する分離部をさらに含む。

上記ディスク回転用モータにおいて好ましくは、ステータコアと軸受とは、筒状部および折返し部を挟んで径方向で互いに対向する。

上記ディスク回転用モータにおいて好ましくは、プラケットは、折返し部の端部を外径側に折り返すことで形成された外縁部をさらに含み、折返し部は、筒状部との折返し位置から外縁部との折返し位置にかけて均一な直径を有する。